

平成22年度 緑区運営方針

[基本目標]



安全・安心、みんなにやさしいまちづくり

～区民の皆さまの快適な生活をサポートします～

目標達成に向けた施策・運営

1 安全・安心に暮らせるまちづくり (危機管理対策)

市民意識調査において、地震などの災害対策や防犯対策への要望は例年上位を占めており、「区民の皆さまの安全・安心の確保」は区役所に求められる重要な役割でもあります。

特に、災害対策については、区役所だけではなく、地域での取組が非常に重要となることから、**区民の皆さまの主体的な取組を支援**するとともに、防災意識を高めるための取組を進め、**緑区全体の危機管理能力の向上**を目指します。



2 誰もが住みよい支えあいのまちづくり (福祉保健)

区民アンケートの結果から、緑区の福祉保健のまちづくりにとって、「地域における“人と人とのつながり”が最も大切」「誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりに取り組む必要がある」と考える方が多いことがわかりました。

現在、地域の方とともに、平成23年度からはじまる**第2期『みどりのわさえ愛プラン』**を策定中です。**お年寄りや体の不自由な方、子育て中の方など、誰もが安心して健康に暮らせる地域社会**を目指します。

3 地域との連携による魅力あふれるまちづくり (地域力推進)

区内の各地域の年齢構成や都市基盤、自然環境は少しずつ異なり、多様化しています。それぞれの地域にあった支援を行うためには、区役所だけではなく、地域の実情を知る区民の皆さまの力が不可欠です。地域と一体となり、**自治会活動や各種団体の活動と連携しながら、緑区の魅力アップ**に取り組みます。



4 環境にやさしいまちづくり (環境保全、地球温暖化対策)

緑区は18区の中で最も「みどり」が多く、区民の皆さまの環境保全に対する意識も高いのが特徴です。私たちにできるのは、この貴重な「みどり」を次の世代に残すことです。

地球温暖化対策は私たち一人ひとりが行動してはじめて効果が出る、まさに地球規模の取組です。緑区環境行動目標を定め、**区民一人ひとりが実践できる環境にやさしい取組を推進**します。

5 区役所サービスの向上

区民、市民の皆さまに満足いただく対応やサービスを実現するためには、**職員一人ひとりが日々充実感を持って仕事に取り組む**ことが大切です。職員の意識を高めるとともに「**区民の皆さまが本当に必要なとしていることは何か**」を考え、これからの施策に反映させることで、**区役所のサービス向上に努めます**。さらに、いっそうの接遇向上を目指します。



目標達成に向けた姿勢



横浜市では、「現場主義」「生活主義」「元気主義」を市政運営の基本として掲げています。これを基本に緑区職員一丸となって「安全・安心、みんなにやさしいまちづくり」を目指します。

基本姿勢1 : 区民の皆さまの声に耳を傾けます

区民の皆さまの声に耳を傾け、「今、何が求められているのか」、「安全・安心や快適な生活をサポートするために何をすべきなのか」を的確にとらえ、皆さまの声を区政・市政に反映させる区役所を目指します。

基本姿勢2 : 正確・迅速・丁寧なサービスを提供します

区民の皆さまに、正確・迅速・丁寧な区役所のサービスを提供します。特に「わかりやすい説明」を心がけます。

緑区で働く職員同士が協力しあい、感謝しあえる環境を大切にし、緑区で働くことの喜びを感じることが出来る職場づくりを進めます。



基本姿勢3 : “もしも…!”の時に備えます

区民の皆さまの安全・安心を守る区役所として、災害発生時などに速やかに対応できるよう、日々の備えを大切にします。

◆環境に配慮した取組を進めます◆

「横浜市役所環境行動宣言」に基づき、緑区では、次の環境行動目標に沿って行動します。

◆1 区民の皆さま・事業者の方々と協働して環境活動を進めていきます

- ・イベント等での環境啓発活動の実施
(区民まつりにおけるキャンペーン、環境家計簿の実施、脱温暖化出前講座の実施 など)

◆2 緑アップ・地球温暖化防止の取組を進めていきます

- ・緑化の推進
(保育園児による花の植栽、区庁舎や土木事務所などでグリーンカーテンの実施 など)
- ・省エネルギーの推進
(節電の徹底、環境にやさしい製品の購入、照明のLED化 など)

◆3 環境負荷の低減に向けた取組の強化を進めていきます

- ・3Rの取組み(※)
(職場におけるマイ箸やマイカップの使用促進、区民まつりでのリユース食器使用やエコ容器の使用、ごみの分別の徹底 など)



3Rの取組みとは・・・

ごみそのものの発生を減らす
(Reduce: リデュース)

繰り返し使う
(Reuse: リユース)

再生利用する
(Recycle: リサイクル)



1 安全・安心に暮らせるまちづくり

主な事業・取組	成果の指標
<p>● 地域における防災の核となる「防災リーダー」へのフォローアップや救急技術の向上 (災害に強いまちづくり事業) [総務課]</p>	⇒防災備蓄庫資機材取扱フォローアップ訓練・救命講習受講者数：44人
<p>● 緊急時医療情報キット(※)の配布 (災害に強いまちづくり事業) [総務課]</p> <p>※ 緊急時医療情報キットとは・・・ 持病や服薬などの医療情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで万一の救急時に備えるもの。</p>	⇒一人暮らしの高齢者などへの配布、各家庭での保管
<p>● 避難場所等への防災用品整備 (災害に強いまちづくり事業) [総務課]</p>	⇒全地域防災拠点へ救急セット配備
<p>● 災害時に援護を必要とする方への支援体制の強化 (災害に強いまちづくり事業) [総務課、福祉保健課、高齢・障害支援課]</p>	⇒地域における災害時要援護者対策の推進
<p>● 災害対策本部代替施設(ハーモニーみどり)の整備 (防災行政用無線システム運用事業) [総務課]</p>	⇒ハーモニーみどりにデジタル防災無線を整備
<p>● 緑区防災計画「風水害対策編」の活用 (災害に強いまちづくり事業) [総務課]</p>	⇒高齢者施設などで風水害対策訓練実施(8施設)、地域別洪水ハザードマップの作成(1か所)
<p>● CAP(こどもへの暴力防止)研修の実施 (子どもの安全支援事業) [地域振興課]</p>	⇒区内全小学校で実施(1000人以上参加)
<p>● 交通安全運動の推進 (交通安全対策事業) [地域振興課]</p>	⇒人身交通事故発生件数の減少(平成21年度：724件)
<p>● 地域防犯力の強化 (安全安心まちづくり推進事業) [地域振興課]</p> <p>地域の防犯活動への支援や、防犯に関する知識・技術を習得するための講習会を開催し、地域の防犯活動の質の向上を図ります。</p>	⇒犯罪認知件数の減少(平成21年1,712件)、緑区防犯情報メール登録者数：1,000人以上(平成21年度末959人)

2 誰もが住みよい支えあいのまちづくり

主な事業・取組	成果の指標
<p>● 「みどりのわ・ささえ愛プラン」第2期計画の策定 (共に支えあう福祉保健の地域づくり事業) [福祉保健課]</p> <p>緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進のため、区民の皆さまが主体となり企画・実施・評価を進めます。</p>	⇒地区別計画策定委員会の開催：22回(区内11地区、各2回)、第2期計画素案策定(12月)、同確定(3月)
<p>● 子育て支援情報の提供 (みどり子育てネットワーク推進事業) (あつまれっ!みどりっこまつり) [こども家庭支援課]</p>	⇒子育て支援に関する情報を一元化したホームページを開設(3月) 育児や保育園に関する情報を提供するイベントの実施(3回)
<p>● ほっとホームステイ・サポートの実施 [こども家庭支援課]</p> <p>親が病気、出産等で子どもの養育ができないときに、地域のホストファミリーが子どもを短期間預かるホームステイを行います。</p>	⇒母子手帳交付時に事業案内のチラシを配布
<p>● 健康づくりに関する啓発 (健康たうん・みどり推進事業) [福祉保健課]</p>	⇒思いやり健康づくりの日健康チェックとセミナー参加者数：2,000人以上
<p>● 認知症予防への普及啓発 (認知症予防・脳若返り事業) [高齢・障害支援課]</p>	⇒脳の健康度テスト参加者数：100人、脳いきいきウォーキング講座参加者数：100人
<p>● 精神障がい者家族セミナーの開催 (精神障がい者家族支援事業) [高齢・障害支援課]</p>	⇒支援事業参加者：延べ50人(2回実施)
<p>● 生活保護受給者への就労支援 [保護課]</p>	⇒就労支援対象者の就職実現：6割

3 地域との連携による魅力あふれるまちづくり

主な事業・取組	成果の指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 「夢みどり50プラン」の推進 (子ども達の夢の緑区推進事業) 	⇒区内全市立小中学校での「花いっぱい運動」「クリーンアップ大作戦」の実施
<ul style="list-style-type: none"> ● 区民との協働事業の実施 (地域課題チャレンジ提案事業) 	⇒平成22年度全17事業実施(継続含む) 平成23年度新規申請件数：10件
<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会活動の活性化 	⇒連合自治会への新規加入自治会：2団体

4 環境にやさしいまちづくり

主な事業・取組	成果の指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 緑区内の「農」の魅力の発信 (未来へつなぐまちの魅力アップ事業) 	⇒農に関する情報を集約したマップの作成
<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭での電気・ガス使用量の削減 (あつまれエコファミリー) 	⇒「環境家計簿」実施世帯数：900世帯(平成21年度：839世帯)
<ul style="list-style-type: none"> ● 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進、G30行動の普及・促進 (ECOライフを楽しもう事業) 	⇒1日一人当たりの、燃やすごみの排出量：420グラム(平成21年度実績：423グラム)

5 区役所サービスの向上

主な事業・取組	成果の指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 広報紙の発行とホームページの運営 (区民への情報提供事業) 	⇒広報よこはまみどり区版の内容に関する読者アンケートの満足度：70%以上
<ul style="list-style-type: none"> ● 窓口サービス満足度調査の実施等による区役所サービスの向上 (区民から親しまれる区役所づくり事業) 	⇒窓口サービス満足度調査において「全体的な印象」の満足度：60%以上(平成21年度：52.9%)

緑区キャラクター

ミドリン



統計
データ

人口：176,015人 <平成22年4月1日推計> 面積：25.42km²
平均年齢：42.21歳 18区中4番目に若い区<平成22年1月1日現在>

認可保育所：27園(市立4園、私立23園) <平成22年4月現在>

幼稚園：16園(全て私立)

小学校：16校(市立15校、私立1校)

中学校：9校(市立5校、私立4校)

小中学校：1校(市立霧が丘小中学校(9年制)平成22年4月開校)

事業所：3,429事業所 <平成18年事業所企業統計調査>

農家戸数：453戸 <2005年農林業センサス>

緑被率：42.8%(18区中1位) <平成21年度調査・横浜市環境創造局>

火災件数：43件<平成21年1月~12月>

刑法犯件数：1,712件<緑警察署、平成21年1月~12月>

昨年度、区制40周年を迎えた緑区、50周年に向けて、あらたな一步を踏み出しました。今年も緑区はがんばります。



2010年5月
横浜市緑区役所